

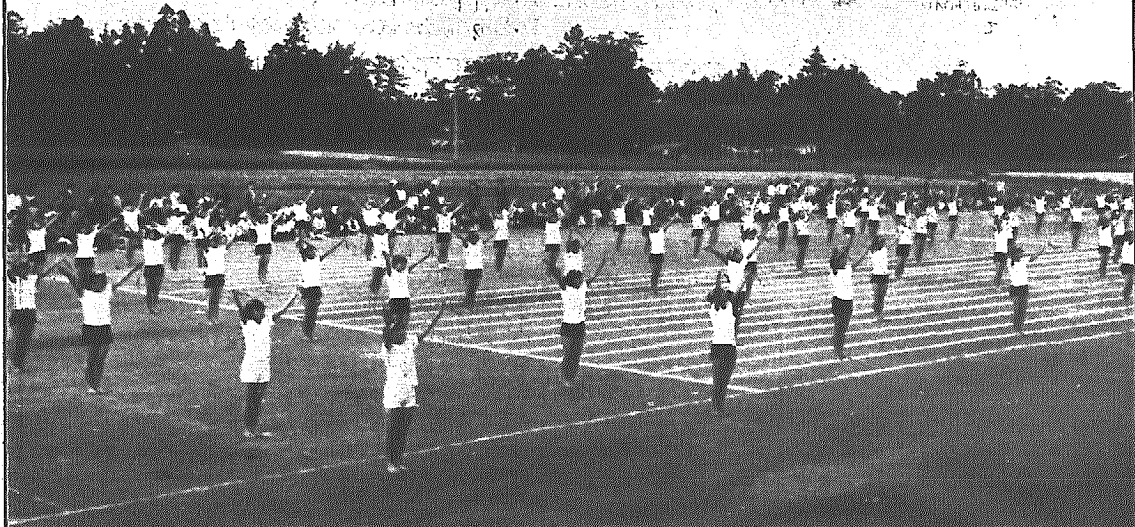
いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K K

No.55

明るく楽しい家庭

- あなたは、あなたの子供が、美しい心と、つつしみと持ったよい子に育つよういつも努力しておられますか。
- あなたの子供がどんな友達と遊び、どんなものを読み、どんな映画を見ているかご存じですか。
- 子供のまちがいを見つけたときは、子供にわかるようにおしえてやることを忘れてはなりませんか。



▽秋 空の下で

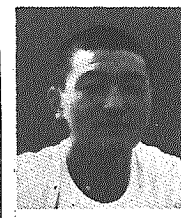
ヨーイ・ドンク力一杯走る。ころんでも起きあがり泣かないでまた走る。

ゴールで先生に頭をなでられていた。僕「ころんでも泣かないよ」と保育所の運動会——運動会は個人プレーより協調性プレーだ、運営は自分達の手でやるんだ」と中学の運動会——若い力たのもしい。(岩中運動会)

第二十二回国民体育大会は、二十三日大分市宮陸上競技場に、日の丸、国体旗、各都道府県旗がはためき、赤々と燃えつづける聖火、そして快晴に恵まれさわやかな日に、天皇、皇后両陛下を、お迎えして、開幕した大分国体秋季大会は、三万五千人の大観衆の声援の拍手にわき、スタンドは大会テーマカラー、ブルー(剛健)だいたい(友愛)赤(信義)の三色の日除け笠で色どられ、緑のフィールドは色とりどりのブレザーコート、ユニホームで色どられあたたかもお花畑の感じ、花やかななにもきびしさを秘め、スポーツの祭典団体に私達は郷土、新潟県、岩室村の榮譽をかけて、二十四日から十六市町村に行なわれる競技に闘志を燃やしながら開会式に臨みましたと、村出身の選手から元気なたよりが郷土の家族のもとにとどきました。私達の村より六選手出場、天皇杯九位獲得の原動力となった。

大分国体 闘志を秘めて

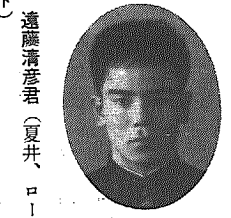
郷土代表 六選手 堂々の行進



△自転車競技一般男子
皆川賢治君(岩室、四百
km速度、四千km団体追い抜
き、ロード)



△バスケット教員男子
本田至君(和納三区)



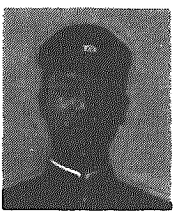
△ホッケー高校男子
岡島進君(高畑、巻工高
チーム)



△ラグビー高校男子
間敏博君(和納八区、新
潟工高チーム)



△自転車競技高校男子
佐藤甲子雄君(石瀬、四
千km団体追い抜き、実用車
四千km速度)



△バスケット教員男子
本田至君(和納三区)

がんばれ、がんばれ!